

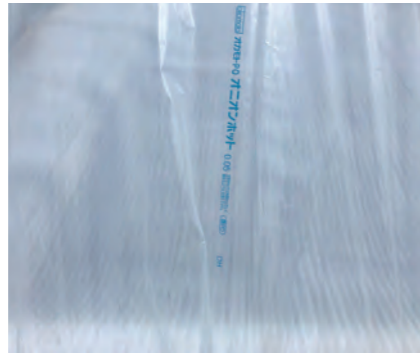
# 保温力強化マルチの効果確認試験

JAきたみらい

坂下 忠



①【3月7日】試験品(水滴が付着)



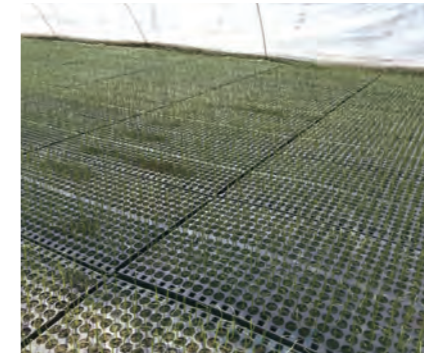
②【3月7日】慣行品(水滴が無い)



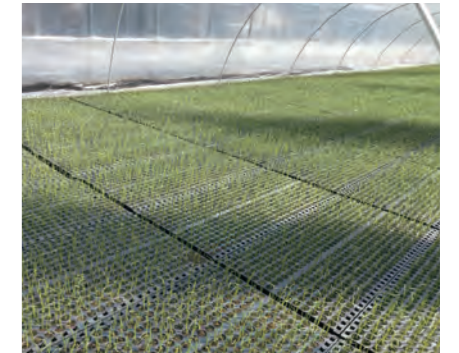
③【3月27日】試験品(水滴が付着)



④【3月27日】慣行品(水滴が無い)



⑤【3月27日】試験品



⑥【3月27日】慣行品

## 試験目的

サンパワーホットマルチの効果確認試験

## 試験作物 及び品種

玉ねぎ

## 試験資材 及び数量(規格)

サンパワーホットマルチ(0.05mm×460cm×100m) 1本

## 慣行資材

オニオンホット

## 資材使用期間

2月～4月

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

展張作業は慣行品は静電気が強く、試験品の方が開きやすかった。

日々の作業性は水滴のつかない慣行品が断然優れていた。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

生育差は大きく感じなかった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：展張時の作業性は試験品が優れていた。

【問題点】：日々の開閉作業は慣行品が優れていた。

### (4)促成・抑制効果について

温度計では約1度慣行品が高かった。また、試験品は朝方水滴がついており、トンネル内が暗く感じた。

### (5)保温効果について

温度計では約1度慣行品が高かった。

## モニター感想

3年前からオニオンホットを使用している。オニオンホットは水滴がつかず、毎日のトンネルの開閉作業が楽であり、試験品は重く感じた。

保温性もオニオンホットの方が高く、もう農ポリには戻れないと思っている。

## JA担当者の感想(岡本 氏)

管内でも早生品種の栽培を中心にオニオンホットの使用者が増加している。今試験で作業性を生産者は重要視していると感じたため、農POのトンネル資材で作業性が優れた安価な商品を期待したい。

## 今後の使用について

改良して欲しい。

作業性が大事なため流動性が必要。